

## 古今和歌集元永本における漢字

石 井 久 雄

本誌第3号(2009年)所載「古今和歌集元永本における短歌表記の漢字」に続いて、本稿は、古今和歌集・1120元永3年伝源俊頼筆写・東京国立博物館現蔵本の全体における漢字を扱う。前稿では、脱字・衍字や汚損がない短歌のみを取り上げたが、本稿では、短歌であるか長歌・旋頭歌であるかを問わず、また和歌本体であるか詞書等であるかを問わず、そこに見える文字すべてを、見せ消ちまたは補入のものを除いて、定量的に検討する。

本稿の主体は、和歌を本体・詞書などに分けつつ漢字の全部を集計した表であり、稿半ばで7ページにわたっている。

## 1 —— 一首の構成部分

和歌一首一首を構成する本体・詞書などの部分によって漢字の様相が隔たることは、一見して予想することができる。検討するに当たってもその構成部分を区別し、巻三冒頭部で見るとすれば、次の……以下のように呼ぶこととする。「=数字」は、本稿で構成部分を列挙するときの順序である。

古今和歌集卷第三	……	卷序= 1
夏哥	……	卷題= 2
題不知	読人不知	……「題不知」 詞書= 4
		……「読人不知」 読人= 5
3-135 わかやとの いけのふちなみ さきにけり 山ほとゝきす いつかきなかむ	……	和歌= 6
この哥或人のいはく柿下人丸かなり	……	左注= 7

巻序・巻題は、和歌一首の構成部分であるのではなく、和歌集全体の構成部分であるが、このように詞書以下と並べる。このほかに、全体の初頭に仮名序があり、「序文=3」とする。序文のうちにも短歌31首があるが、序文のうちでは構成を分けない。和歌ないし和歌集の構成部分として設けるのは、以上の7件である。なお、真名序は元永本に欠けている。

挙例に当たっては、国歌大観番号を、巻序を前に付して添える。幾首もの和歌群をまとめた詞書・読人・左注があるが、その所在を示すには、直後または直前の和歌による。

\*

構成部分として問題があるものがあり、それについて述べる。

上冊巻頭すなわち全巻巻頭に次のような巻序がある。

古今和歌集巻第一

この次の行から仮名序本文が始まり、31葉61面を費やして序が終わった後に、葉を改めて再び次の巻序があり、その次の行は巻題「春哥上」である。

古今和歌集巻第一

仮名序は巻一の一部を構成していないであろうから、全巻巻頭のほうの巻序が誤りであると考えられる。本稿では、しかし、誤りであろうほうも、その文字のままに巻序とする。

巻一・二・……などの各巻末尾には巻序・巻題のようなものは見えないが、二冊構成の上冊末尾に次のようにあり、

古今和歌集巻第上

元永三年七月廿四日□

下冊末尾に次のようにある。

古今和歌集巻第廿

これらの「巻第上」あるいは「巻第廿」の妥当性についてはここでは議論せず、「古今……」の各行を巻序として扱い、「元永……」は、うまい取り扱いではないが、巻題に分類する。しかも、それぞれ巻十または巻二十に属するものとする。なお、ここの「元永……」の行末に「□」としたものは、文字があったであろうと思われるが、汚損していて読むことができず、文字数も不明である。

仮名序には短歌31首が引用されているが、それは、上に記したとおり、和歌に含めず、単純に本文の一節とみなす。序文には、また、後代の注釈と考えられるものがあるが、それも、特別の地位を与えず、単純に本文と同様に扱う。

巻題には、巻十九・二十のうちに、特別の扱いをしたものがある。すなわち、次の下線部は、いずれも巻題とする。

古今和歌集巻第十九

短哥

1001番～1006番歌

旋頭哥風俗雜哥

1007番～1010番歌

誹諧哥

1011番歌以下

古今和歌集巻第廿

大所の御哥

1069番～1073番歌

神楽哥

1074番～1080番歌

翻物哥

1081番歌以下

諸本の多くは、巻十九巻題を「雑体」とし、「短歌」「旋頭歌」「誹諧歌」をその下の類とする。「短歌」は、内容からは「長歌」とあってほしいが、諸本ともこのようである。「旋頭哥風俗雜哥」は「風

俗雑哥」が二行割書であるが、その様式の特異さを無視して文字集計の対象とする。「誹諧哥」は、いわゆる字下げをせず、行頭から記されているが、「短哥」「旋頭哥風俗雑哥」に並ぶものとする。卷二十「大所の御哥」では、「大所」の右に「哥」の補入があり、補入を活かした「大歌所」が用語上は望ましいが、補入の1字「哥」は文字集計の対象としない。また、ここの「の」は巻題のうちに唯一出現する仮名であることになり、巻題の文字の等質性を乱すが、このままとする。「翻物哥」は、諸本で、ここに言う巻題とせず、詞書の扱いであると見られるが、元永本では、行頭から置かれ、詞書が2字程度下げを通例とするのと異なるので、本稿では、詞書と見ず、巻題として扱う。1087番歌の前には諸本が巻題相当「東歌」を置くが、元永本は欠いている。

卷七のほぼ末尾 357～363番歌7首に対して見える次の下線部「春」「夏」「秋」「冬」は、巻題とせず、詞書とする。それらを詞書「内侍のかみの……」が括っていて、詞書の下に巻題があるといった煩雑さを今は避けたいからである。

内侍のかみの七十賀子の右大将藤原朝臣の四十の賀し侍る時四季のゑかき  
たるうしろの屏風の哥  
素性法師

春

7- 357 かすかの、若菜つみつ、よろつよを いはふ心は かみそしる覧

躬恒

7- 358 やまたかみ くもゐに見ゆる さくらはな こゝろの行て をらぬ日そなき

夏

7- 359 めつらしき こゑならなくに ほとゝきす こゝろのとしを あかすもあるかな

秋

7- 360 すみの江の 松に秋風 ふくからに こゑうちそふる おきつしらなみ

忠岑

7- 361 千鳥なく さほのかはきり たちぬらし やまのもみちも いろまさり行

7- 362 あきくれと いろもかはらぬ 常葉山 ほかのもみちを 風そかしける

冬

7- 363 しらゆきの ふりしくときは みよしの、やましたかせに 花そちりける  
詞書の内容は一様ではない。次のように作歌の契機を記すものが普通であるが、

1- 1 ふるとしに春の立ける日

次のように作者に言及するものもある。

1- 21 仁和帝のみこにおましましけるときにひとにわかなたまひける哥

作者を含むものは構成部分の読人に通ずる。次は、諸本で「二条の後の春の初めの御歌」となっているところを、元永本では詞書と読人とに分けている。

はるのはしめに

## 二条后宮御哥

1- 4 ゆきのうちに はるはきにけり うくひすの こほれるなみた いまやとくらむ  
今は詞書を細かく分類することはしない。

左注の内容は、次のように作者を記すものが多く、

1- 7 或人のいはくこの哥前おほいまふちきみのなり

また作歌の契機を記すものもあって、

5- 269 此哥はまたうへゆるされさりける時めしあけられてつかまつりけるとなむ  
詞書に通うところがある。ただし、次のように和歌の異文を示すものがある。

1- 50 さとゝほみ ひとすさめぬ さくら花

いたくなわひそ われみはやさむ

やまたかみ人もすさめぬとも

この翻刻は改行を原文に似せてある。和歌は2行で記され、その初句二句に対する異文が、一首の末尾に、字下げを伴いながら配されている。左注も、細かく分類することはしない。

## 2—— 文字および漢字の概要

元永本古今和歌集に出現した文字の総量は、表1のようである。構成比率としたものは、詞書・和歌などの構成部分ごとに、全体に占める比率を算出したものである。和歌を記した文字が和歌集全部の文字のうちの63.6% (= 33974 / 53376) を占め、詞書の文字が20.1% (= 10731 / 53376) である。

文字の量は和歌が詞書の3倍以上 (= 33974 / 10731) であるが、漢字の異なりも延べも両者でさして隔たっていない。漢字の延べが近いということは漢字全体における比率も近いということであり、和歌が34.6% (= 2341 / 6764)、詞書が31.1% (= 2106 / 6764) である。漢字の異なり・延べの近さに、和歌と詞書との違いを端的に知ることができ、すなわち詞書のほうにおいて漢字がよく使用されている。和歌・詞書それぞれにおいて文字全体に占める漢字延べの

表1 文字および漢字の総量

	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注
文字全体	53376	193	68	4687	10731	2709	33974	1014
構成比率	100.0	0.3	0.1	8.7	20.1	5.0	63.6	1.8
漢字異なり	604	21	44	128	335	194	324	69
漢字延べ	6764	193	67	274	2106	1604	2341	179
構成比率	100.0	2.8	0.9	4.0	31.1	23.7	34.6	2.6
漢字比率	12.6	100.0	98.5	5.8	19.6	59.2	6.8	17.6
仮名延べ	46612	0	1	4413	8625	1105	31633	835

比率は、当然に和歌のほうが小さく、和歌で6.8% (= 2341/33974)、詞書で19.6% (= 2106/10731)である。

詞書・和歌の漢字比率が平均値に近い事例に、次のようなものがある。詞書・和歌には（その部分の漢字比率＝漢字延べ／文字延べ）を示す。国歌大観番号は詞書の前に置く。

(19.5=8/41)18- 963 左近少将とけて侍りける時をむなのとふらひにつかはしたりける返  
事によみてつかはしける

小野春風

(6.4=2/31) やまひこのおとつれしとそいまはおもふわれか人かと身をたるとるよに

(20.0=3/15) 8- 373 坂東へまかる人によみてつかはす

いかこのあつゆき

(6.6=2/30) おもへとも身をしわけねはめにみえぬこゝろを君にたくへてそやる

(20.0=3/15)12- 588 山とに侍りける人につかはしける

貫之

(6.8=2/29) こえぬまはよしのゝやまのさくら花人つてにのみきゝやわたらむ

表2 巻ごとの文字および漢字の量

	合計			詞書			読人			和歌			左注		
	文字	漢字	比率	文字	漢字	比率	文字	漢字	比率	文字	漢字	比率	文字	漢字	比率
全体	53376	6764	12.6	10731	2106	19.6	2709	1604	59.2	33974	2341	6.8	1014	179	17.6
序文	4695	282	6.0	-	-	-.	-	-	-.	-	-	-.	-	-	-.
巻一	3017	315	10.4	691	143	20.6	204	107	52.4	2068	49	2.3	43	5	11.6
巻二	3024	439	14.5	763	184	24.1	186	111	59.6	2006	121	6.0	59	13	22.0
巻三	1395	130	9.3	262	30	11.4	94	36	38.2	1013	47	4.6	16	7	43.7
巻四	3118	432	13.8	586	166	28.3	181	100	55.2	2327	148	6.3	14	8	57.1
巻五	3047	431	14.1	893	213	23.8	202	89	44.0	1900	107	5.6	42	12	28.5
巻六	1140	178	15.6	216	44	20.3	88	37	42.0	827	88	10.6	-	-	-.
巻七	989	190	19.2	285	87	30.5	48	39	81.2	647	55	8.5	-	-	-.
巻八	2177	356	16.3	779	146	18.7	130	67	51.5	1191	129	10.8	67	4	5.9
巻九	1405	187	13.3	779	82	10.5	54	30	55.5	484	55	11.3	78	10	12.8
巻十	1939	234	12.0	271	34	12.5	187	61	32.6	1423	105	7.3	31	7	22.5
巻十一	2603	236	9.0	128	21	16.4	65	40	61.5	2399	164	6.8	-	-	-.
巻十二	2113	320	15.1	140	47	33.5	125	104	83.2	1837	158	8.6	-	-	-.
巻十三	2435	319	13.1	389	68	17.4	157	114	72.6	1841	110	5.9	37	16	43.2
巻十四	2647	281	10.6	387	55	14.2	164	89	54.2	2025	110	5.4	60	16	26.6
巻十五	3189	409	12.8	461	89	19.3	205	137	66.8	2512	172	6.8	-	-	-.
巻十六	2258	327	14.4	1124	180	16.0	106	85	80.1	1017	51	5.0	-	-	-.
巻十七	3424	784	22.8	1173	277	23.6	153	139	90.8	1954	313	16.0	132	43	32.5
巻十八	3661	436	11.9	1091	164	15.0	173	113	65.3	2030	118	5.8	356	30	8.4
巻十九	3908	434	11.1	239	74	30.9	175	104	59.4	3473	235	6.7	-	-	-.
巻二十	1192	44	3.6	74	2	2.7	12	2	16.6	1000	6	0.6	79	8	10.1

漢字の出現は巻ごとに見ても偏りがあり、集計を表2に示す。漢字・仮名を併せた文字延べ、漢字延べ、文字延べに対する漢字延べの比率を掲げる。漢字の比率は巻二十で極端に小さく、全体で3.6% (=漢字延べ44/文字延べ1192)、その詞書のみでは2.7% (=2/74)、和歌のみでは0.6% (=6/1000)である。漢字の比率が小さい巻、逆に大きい巻を、5巻ずつ、全体および詞書・和歌について選ぶと、表中に下線      または      を施してあるようになる。詞書・和歌の双方で際立った特徴を見せる巻は少なく、小さいほうで巻二十のほかには巻三(詞書11.4%、和歌4.6%、ともに小さい3位)・巻十四(詞書14.2%、和歌5.4%、ともに小さい5位)、逆に大きいほうで巻十二(詞書33.5%、大きい1位、和歌8.6%、大きい5位)のみである。それらでは一卷全体でも比率が小さいか大きいかである。巻九は、詞書で漢字が少なく(10.5%=82/779、小さいほうの2位)、和歌で多い(11.3%=55/484、大きいほうの2位)という、対立する特徴を見せている。

なお、表2中に「序文」としたものは、構成部分としての序文のほかに、上に触れた全巻巻頭の巻序「古今和歌集巻第一」を含み、その漢字8字分が、表1の純粹に構成部分のみである「序文」より多くなっている。

また、和歌における漢字の比率について、前稿で扱った表記完全の短歌982首では7.0% (=漢字2040字/仮名との合計28913字)であり、本稿では、表記欠陥の短歌も長歌・旋頭歌も含み、比率がやや小さくなっている。しかし、その差は、問題にするほどでないと思われる。巻ごとの比率も前稿と対比させることができ、差に大小があることも知られるが、立ち入らない。

漢字一字一字の出現の様相を一首の構成部分ごとを一覧すると、表3のようである。最初に掲げた漢字「阿」は和歌集全体で1回出現し、それは詞書においてであり、次の「哀」は巻題においてである。「逢」は和歌において3回出現している。その3字下の「綾」は和歌集全体で4回出現し、詞書および和歌において2回ずつであり、「或」は全体で19回出現し、詞書で2回、左注で19回であり、……のようである。漢字の配列はJISコード順であり、漢字の後に参考として仮名を集計する。同の字点「々」は漢字として漢字の末尾に配置し、一の字点「ゝ」およびくの字点「ゝゝ」は仮名として仮名の末尾に配置する。なお、汚損した文字についても、漢字であるか仮名であるかを推測し、出現頻度をそれぞれに纏めて漢字・仮名の最後に「■」「□」で示したが、その数値を本文中では顧慮することはない。

表3 漢字の出現の一覧 付・仮名

漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注
阿	1	-	-	-	1	-	-	-	家	45	-	-	-	42	1	2	-
哀	1	-	1	-	-	-	-	-	歌	29	18	-	-	10	-	-	1
逢	3	-	-	-	-	-	3	-	河	27	-	-	-	10	4	11	2
葦	1	-	-	-	-	-	1	-	火	7	-	-	-	2	-	5	-
梓	2	-	-	-	-	-	2	-	花	169	-	-	7	44	-	118	-
綾	4	-	-	-	2	-	2	-	華	3	-	-	-	2	-	1	-
或	19	-	-	-	2	-	-	17	過	7	-	-	-	-	-	7	-
安	3	-	-	-	1	2	-	-	霞	13	-	-	1	-	-	12	-
閤	2	-	-	-	2	-	-	-	峨	2	-	-	1	1	-	-	-
伊	3	-	-	-	-	3	-	-	我	51	-	-	1	-	-	50	-
朋	1	-	-	-	1	-	-	-	画	2	-	-	-	2	-	-	-
惟	16	-	-	-	13	3	-	-	賀	9	-	-	-	9	-	-	-
為	2	-	-	-	-	-	2	-	雅	1	-	-	-	1	-	-	-
衣	12	-	-	-	2	-	10	-	介	4	-	-	-	4	-	-	-
違	1	-	-	-	1	-	-	-	会	2	-	-	-	2	-	-	-
井	3	-	-	-	1	1	1	-	海	7	-	-	2	1	-	4	-
磯	3	-	-	-	1	-	2	-	外	1	-	-	-	1	-	-	-
一	15	3	1	1	2	-	7	1	垣	1	-	-	-	1	-	-	-
稻	1	-	-	-	-	1	-	-	柿	5	-	-	1	-	-	-	4
因	5	-	-	-	-	5	-	-	角	1	-	-	-	-	-	1	-
引	1	-	-	-	-	-	1	-	郭	4	-	-	-	3	-	1	-
院	23	-	-	-	17	6	-	-	岳	2	-	-	-	-	2	-	-
陰	1	-	-	-	-	1	-	-	楽	2	-	1	-	1	-	-	-
隱	1	-	-	-	-	-	1	-	嶋	2	-	-	-	-	-	2	-
右	8	-	-	-	3	2	3	-	刈	1	-	-	-	-	-	1	-
宇	2	-	-	1	-	-	1	-	寒	6	-	-	-	-	-	6	-
羽	1	-	-	-	-	-	1	-	卷	27	23	-	1	-	-	2	1
雨	14	-	-	-	3	-	11	-	官	2	-	-	1	1	-	-	-
云	46	-	-	6	14	-	19	7	寛	32	-	-	-	32	-	-	-
雲	17	-	-	-	5	1	11	-	敢	1	-	-	-	-	-	1	-
叡	1	-	-	-	1	-	-	-	款	1	-	-	-	-	-	1	-
永	1	-	1	-	-	-	-	-	甘	1	-	-	-	1	-	-	-
衛	4	-	-	1	1	2	-	-	監	1	-	-	-	1	-	-	-
越	3	-	-	-	1	-	2	-	管	1	-	-	-	-	-	1	-
延	2	-	-	1	-	-	1	-	観	3	-	-	-	3	-	-	-
煙	1	-	-	-	-	-	1	-	貫	47	-	-	1	1	45	-	-
猿	7	-	-	-	1	-	6	-	還	1	-	-	-	1	-	-	-
奥	1	-	-	-	-	1	-	-	間	2	-	-	-	-	-	2	-
王	45	-	-	1	34	9	-	1	閑	3	-	-	-	1	2	-	-
翁	1	-	-	-	-	-	-	1	閑	2	-	-	-	-	2	-	-
鶯	5	-	-	-	3	-	2	-	丸	13	-	-	4	1	3	1	4
岡	1	-	-	-	-	1	-	-	岸	3	-	-	-	-	-	3	-
屋	2	-	-	-	1	-	1	-	雁	1	-	-	-	-	-	1	-
音	2	-	-	-	1	-	1	-	喜	2	-	-	2	-	-	-	-
下	10	-	3	-	1	1	1	4	基	1	-	-	-	-	1	-	-
何	6	-	-	1	-	-	5	-	奇	1	-	-	-	-	-	1	-
可	2	-	-	-	-	-	2	-	幾	2	-	-	-	-	-	2	-
夏	6	-	1	-	1	-	4	-	忌	2	-	-	1	1	-	-	-
漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注

## 古今和歌集元永本における漢字

漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注
婦	3	-	-	-	-	-	1	2	見	31	-	-	1	11	-	19	-
祈	1	-	1	-	-	-	-	-	元	13	-	1	-	-	11	-	1
季	1	-	-	-	1	-	-	-	原	68	-	-	1	11	52	4	-
紀	17	-	-	2	1	14	-	-	源	8	-	-	-	2	6	-	-
鬼	5	-	-	-	-	-	5	-	言	6	-	-	-	3	3	-	-
儀	1	-	-	-	-	-	1	-	古	30	23	-	1	5	-	1	-
菊	2	-	-	-	2	-	-	-	戸	1	-	-	-	-	-	1	-
吉	12	-	-	-	2	1	9	-	袴	1	-	-	-	-	-	1	-
橘	6	-	-	-	2	2	2	-	五	16	2	1	1	7	-	5	-
宮	44	-	-	1	37	2	4	-	吾	8	-	-	-	-	-	8	-
弓	2	-	-	-	-	-	2	-	後	8	-	-	-	2	1	5	-
給	13	-	-	1	10	-	-	2	御	100	-	1	7	79	6	6	1
去	7	-	-	-	1	-	6	-	碁	1	-	-	-	1	-	-	-
居	2	-	-	-	-	-	2	-	語	1	-	-	-	1	-	-	-
虚	3	-	-	-	-	-	3	-	候	7	-	-	1	6	-	-	-
許	19	-	-	1	6	-	12	-	光	5	-	-	-	-	-	5	-
京	12	-	-	-	11	-	-	1	公	5	-	-	-	3	-	2	-
共	9	-	-	-	4	-	5	-	口	1	-	-	-	-	-	1	-
卿	1	-	-	-	1	-	-	-	向	3	-	-	-	-	-	3	-
喬	6	-	-	-	4	2	-	-	后	29	-	-	-	28	1	-	-
橋	2	-	-	-	-	-	2	-	好	1	-	-	-	-	1	-	-
興	12	-	-	-	-	12	-	-	康	4	-	-	1	1	2	-	-
鏡	1	-	-	-	-	-	1	-	恒	42	-	-	1	1	40	-	-
仰	1	-	-	-	1	-	-	-	更	2	-	-	-	-	-	2	-
曉	2	-	-	-	-	-	2	-	江	13	-	-	-	4	5	3	1
業	31	-	-	1	5	25	-	-	甲	4	-	-	1	3	-	-	-
玉	18	-	-	-	1	-	17	-	皇	3	-	-	-	3	-	-	-
均	3	-	-	-	-	3	-	-	紅	6	-	-	-	3	-	3	-
錦	1	-	-	-	-	-	1	-	荒	1	-	-	-	-	-	1	-
琴	1	-	-	-	-	-	1	-	行	61	-	-	1	3	22	35	-
近	11	-	-	-	7	3	-	1	香	12	-	-	-	1	6	5	-
金	3	-	-	-	-	-	3	-	高	4	-	-	-	1	1	2	-
銀	1	-	-	-	-	-	1	-	合	52	-	-	-	52	-	-	-
九	5	2	-	-	2	-	1	-	告	1	-	-	-	-	-	1	-
遇	3	-	-	-	-	-	3	-	国	18	-	-	1	11	2	2	2
君	22	-	-	-	1	1	20	-	黒	4	-	-	-	-	2	1	1
契	2	-	-	-	-	-	2	-	此	11	-	-	-	-	-	-	11
形	1	-	-	1	-	-	-	-	今	61	23	-	1	2	3	32	-
慶	1	-	-	-	-	-	-	1	根	2	-	-	-	-	2	-	-
景	2	-	-	-	-	-	2	-	佐	3	-	-	-	2	-	1	-
桂	1	-	-	-	1	-	-	-	嵯	2	-	-	1	1	-	-	-
経	12	-	-	-	4	1	7	-	左	10	-	-	1	3	3	3	-
詣	3	-	-	-	3	-	-	-	砂	2	-	-	-	-	-	2	-
芸	4	-	-	-	-	4	-	-	鎖	1	-	-	-	-	-	1	-
穴	3	-	-	-	-	-	3	-	坐	1	-	-	-	1	-	-	-
結	2	-	-	-	-	-	2	-	哉	4	-	-	-	-	-	4	-
月	59	-	1	3	18	-	37	-	妻	3	-	-	-	-	-	3	-
兼	18	-	-	-	-	14	4	-	宰	1	-	-	-	1	-	-	-
懸	1	-	-	-	-	-	1	-	栽	4	-	-	-	3	-	-	1
献	6	-	-	-	5	-	-	1	歳	5	-	-	-	1	-	4	-
漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注



立命館白川靜記念東洋文字文化研究紀要 第五號

漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注
采	3	-	-	-	2	-	-	1	種	1	-	-	-	-	-	1	-
祭	1	-	-	-	1	-	-	-	酒	1	-	-	-	-	1	-	-
斎	3	-	-	-	3	-	-	-	首	2	-	-	1	-	-	-	1
菜	1	-	-	-	-	-	1	-	樹	3	-	-	-	1	2	-	-
裁	1	-	-	-	-	-	1	-	宗	11	-	-	-	-	11	-	-
在	34	-	-	1	2	20	11	-	州	1	-	-	-	1	-	-	-
材	5	-	-	-	-	5	-	-	洲	1	-	-	-	1	-	-	-
坂	8	-	-	-	3	4	1	-	秀	5	-	-	1	1	3	-	-
埼	3	-	-	-	3	-	-	-	秋	77	-	2	2	10	1	62	-
昨	2	-	-	-	-	-	2	-	終	1	-	-	-	1	-	-	-
桜	14	-	-	-	7	-	7	-	舟	3	-	-	-	1	-	2	-
雜	3	-	3	-	-	-	-	-	集	28	23	-	3	1	-	-	1
三	14	2	2	-	4	4	1	1	住	5	-	-	-	1	-	4	-
山	185	-	-	8	33	1	143	-	十	28	10	-	1	10	-	7	-
使	1	-	-	-	1	-	-	-	從	4	-	-	-	-	-	4	-
四	10	2	2	2	4	-	-	-	重	2	-	-	-	-	-	2	-
子	17	-	-	-	6	1	10	-	宿	1	-	-	-	1	-	-	-
師	26	-	-	-	3	23	-	-	淑	2	-	-	-	-	2	-	-
志	1	-	-	-	1	-	-	-	出	5	-	-	-	2	-	3	-
思	47	-	-	1	2	-	44	-	春	52	-	2	1	9	10	30	-
糸	6	-	-	-	1	-	5	-	所	15	-	1	1	11	-	2	-
紫	1	-	-	-	1	-	-	-	緒	3	-	-	-	-	-	3	-
事	25	-	-	3	9	-	13	-	書	1	-	-	1	-	-	-	-
侍	58	-	-	-	53	3	-	2	助	1	-	-	-	-	1	-	-
兒	1	-	-	-	-	-	1	-	女	39	-	-	4	20	2	11	2
字	2	-	-	-	2	-	-	-	傷	1	-	1	-	-	-	-	-
寺	8	-	-	-	7	-	-	1	勝	2	-	-	-	-	2	-	-
持	1	-	-	-	-	1	-	-	將	8	-	-	-	8	-	-	-
時	156	-	-	3	120	1	30	2	小	40	-	-	2	4	28	6	-
滋	5	-	-	-	-	5	-	-	少	1	-	-	-	1	-	-	-
治	2	-	-	1	-	-	1	-	床	1	-	-	-	-	-	1	-
蒔	3	-	-	-	-	-	3	-	承	4	-	-	-	-	3	-	1
鹿	3	-	-	-	-	-	3	-	昭	1	-	-	1	-	-	-	-
式	1	-	-	-	1	-	-	-	松	13	-	-	-	2	-	11	-
七	13	2	1	-	10	-	-	-	消	1	-	-	-	1	-	-	-
室	4	-	-	1	-	3	-	-	燒	1	-	-	1	-	-	-	-
実	3	-	-	-	1	2	-	-	照	21	-	-	-	4	16	1	-
舎	1	-	-	-	1	-	-	-	上	14	1	3	-	3	5	2	-
社	3	-	-	-	1	-	2	-	城	1	-	-	-	-	-	1	-
者	2	-	-	-	-	-	2	-	常	3	-	-	-	-	-	3	-
車	2	-	-	-	2	-	-	-	情	6	-	-	-	-	-	6	-
借	2	-	-	-	-	-	2	-	条	13	-	-	-	9	4	-	-
尺	1	-	-	-	1	-	-	-	織	7	-	-	-	1	-	6	-
若	1	-	-	-	-	-	1	-	色	14	-	-	1	-	-	13	-
主	6	-	-	-	1	2	2	1	心	69	-	1	7	5	-	55	1
取	3	-	-	-	-	-	3	-	振	1	-	-	-	1	-	-	-
守	3	-	-	-	2	-	1	-	深	8	-	-	-	3	5	-	-
手	5	-	-	-	-	-	5	-	申	5	-	-	-	3	-	1	1
朱	3	-	-	-	3	-	-	-	真	3	-	-	-	-	3	-	-
珠	1	-	-	-	-	-	1	-	神	18	-	1	2	1	1	13	-
漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注

## 古今和歌集元永本における漢字

漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注
臣	75	-	-	-	15	59	-	1	藻	2	-	-	-	-	-	2	-
親	38	-	-	-	34	3	-	1	送	4	-	-	-	4	-	-	-
身	78	-	-	1	15	1	60	1	霜	4	-	-	-	-	-	4	-
辛	1	-	-	-	1	-	-	-	藏	4	-	-	-	4	-	-	-
人	470	-	-	28	87	114	217	24	則	39	-	-	1	-	38	-	-
仁	10	-	-	-	8	1	-	1	息	5	-	-	-	5	-	-	-
壬	7	-	-	-	-	7	-	-	足	2	-	-	-	-	-	2	-
尽	1	-	-	-	-	-	1	-	俗	1	-	1	-	-	-	-	-
陣	1	-	-	-	1	-	-	-	属	1	-	-	-	1	-	-	-
吹	13	-	-	-	1	-	12	-	袖	2	-	-	-	-	-	2	-
水	34	-	-	-	3	-	30	1	其	3	-	-	1	1	-	1	-
菅	6	-	-	-	-	6	-	-	村	2	-	-	-	2	-	-	-
雀	3	-	-	-	3	-	-	-	太	4	-	-	-	2	1	-	1
世	14	-	-	-	1	1	12	-	打	1	-	-	-	-	-	1	-
瀬	3	-	-	1	-	-	2	-	帯	3	-	-	-	2	-	1	-
是	8	-	-	-	-	7	1	-	待	16	-	-	-	-	-	16	-
勢	4	-	-	-	-	4	-	-	退	1	-	-	-	-	1	-	-
性	33	-	-	-	-	33	-	-	代	3	-	-	-	-	-	3	-
成	3	-	-	-	1	-	2	-	大	37	-	1	-	9	17	8	2
政	4	-	-	-	2	1	-	1	第	24	23	-	-	-	-	-	1
正	13	-	-	1	5	7	-	-	題	109	-	-	-	109	-	-	-
清	9	-	-	-	1	7	1	-	滝	4	-	-	-	3	-	1	-
生	9	-	-	1	1	7	-	-	宅	1	-	-	-	-	1	-	-
盛	3	-	-	-	-	1	2	-	只	1	-	-	-	-	-	1	-
声	4	-	-	-	-	-	4	-	達	2	-	-	-	2	-	-	-
製	1	-	-	-	-	1	-	-	辰	1	-	-	1	-	-	-	-
西	6	-	-	-	6	-	-	-	谷	6	-	-	-	-	-	6	-
静	1	-	-	-	-	1	-	-	誰	6	-	-	-	-	-	6	-
惜	6	-	-	-	-	-	6	-	歎	1	-	-	-	1	-	-	-
昔	6	-	-	-	1	-	3	2	短	2	-	1	-	1	-	-	-
石	2	-	-	-	1	-	1	-	男	9	-	-	-	5	1	2	1
積	1	-	-	-	-	-	1	-	知	71	-	-	-	45	14	12	-
赤	4	-	-	4	-	-	-	-	地	11	-	-	-	4	-	7	-
跡	1	-	-	-	-	-	1	-	池	2	-	-	-	1	-	1	-
節	2	-	-	-	2	-	-	-	致	1	-	-	-	-	1	-	-
雪	23	-	-	1	7	-	15	-	竹	3	-	-	-	-	-	2	1
仙	1	-	-	-	1	-	-	-	筑	2	-	-	-	2	-	-	-
先	1	-	-	-	-	-	1	-	着	1	-	-	-	-	-	1	-
千	39	-	-	1	2	10	26	-	中	38	-	-	-	15	3	20	-
撰	1	-	-	1	-	-	-	-	仲	4	-	-	-	2	2	-	-
泉	2	-	-	-	-	1	1	-	忠	34	-	-	1	1	32	-	-
染	12	-	-	-	2	-	9	1	虫	1	-	-	-	-	-	1	-
旋	1	-	1	-	-	-	-	-	寵	3	-	-	-	-	3	-	-
船	3	-	-	1	-	-	2	-	帳	1	-	-	-	1	-	-	-
前	13	-	-	1	6	1	1	4	朝	77	-	-	3	14	49	11	-
素	33	-	-	-	-	33	-	-	町	19	-	-	1	2	16	-	-
僧	10	-	-	1	2	7	-	-	長	3	-	-	-	1	2	-	-
早	5	-	-	-	-	-	5	-	鳥	3	-	-	-	-	-	3	-
相	1	-	-	-	1	-	-	-	津	3	-	-	-	-	-	3	-
草	9	-	-	-	2	-	7	-	通	1	-	-	-	1	-	-	-
漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注

漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注
綴	1	-	-	-	-	-	1	-	倍	2	-	-	-	-	2	-	-
壺	1	-	-	-	1	-	-	-	梅	8	-	-	1	6	-	1	-
鶴	10	-	-	1	1	-	8	-	萩	3	-	-	-	-	-	3	-
亭	4	-	-	-	4	-	-	-	柏	1	-	-	-	-	-	1	-
貞	18	-	-	-	12	6	-	-	白	15	-	-	-	3	1	10	1
定	9	-	-	-	-	9	-	-	薄	1	-	-	-	-	-	1	-
帝	18	-	-	2	12	2	-	2	八	9	2	-	1	2	-	4	-
程	1	-	-	-	-	-	1	-	伴	4	-	-	-	-	2	-	2
典	2	-	-	-	-	2	-	-	判	1	-	-	-	1	-	-	-
天	4	-	-	1	1	-	2	-	反	1	-	-	-	1	-	-	-
伝	2	-	-	-	-	-	-	2	繁	1	-	-	-	-	-	1	-
殿	4	-	-	-	3	-	-	1	磐	1	-	-	-	-	-	1	-
田	10	-	-	-	4	-	6	-	悲	3	-	-	-	-	-	3	-
渡	2	-	-	-	-	-	2	-	斐	4	-	-	1	3	-	-	-
登	1	-	-	-	-	1	-	-	比	2	-	-	-	2	-	-	-
都	5	-	-	1	-	1	3	-	罷	15	-	-	-	15	-	-	-
度	2	-	-	-	-	-	2	-	誹	1	-	1	-	-	-	-	-
冬	19	-	1	1	4	-	13	-	備	1	-	-	-	1	-	-	-
刀	2	-	-	-	2	-	-	-	尾	7	-	-	-	-	-	7	-
唐	3	-	-	-	2	-	1	-	枇	1	-	-	-	1	-	-	-
島	4	-	-	-	-	-	4	-	美	2	-	-	-	-	2	-	-
東	10	-	-	-	8	1	-	1	膝	1	-	-	1	-	-	-	-
桃	1	-	-	-	1	-	-	-	姫	4	-	-	-	2	-	2	-
棟	4	-	-	-	-	4	-	-	百	1	-	-	-	1	-	-	-
湯	1	-	-	-	1	-	-	-	氷	1	-	-	-	-	-	1	-
等	1	-	-	1	-	-	-	-	表	2	-	-	-	2	-	-	-
答	1	-	-	-	-	-	1	-	苗	2	-	-	-	-	-	2	-
藤	36	-	-	-	10	25	1	-	浜	2	-	-	-	-	-	2	-
頭	2	-	1	-	1	-	-	-	敏	14	-	-	-	2	12	-	-
同	10	-	-	-	2	8	-	-	不	63	-	-	-	46	15	2	-
導	1	-	-	-	1	-	-	-	布	2	-	-	-	-	2	-	-
道	13	-	-	-	3	6	4	-	府	2	-	-	1	1	-	-	-
読	124	-	-	-	36	88	-	-	扶	1	-	-	-	-	1	-	-
奈	4	-	-	1	2	-	-	1	敷	5	-	-	-	-	-	5	-
内	8	-	-	-	1	4	1	2	父	7	-	-	-	2	5	-	-
南	30	-	-	3	3	-	24	-	武	1	-	-	-	1	-	-	-
二	13	2	1	-	6	2	-	2	舞	1	-	-	-	1	-	-	-
廿	4	2	1	1	-	-	-	-	部	6	-	1	1	2	2	-	-
日	66	-	1	3	28	-	34	-	風	82	-	1	1	10	15	55	-
乳	2	-	-	-	-	2	-	-	服	1	-	-	-	1	-	-	-
任	1	-	-	1	-	-	-	-	物	29	-	2	1	8	1	17	-
忍	1	-	-	-	-	-	1	-	文	16	-	-	1	3	12	-	-
寧	1	-	-	-	1	-	-	-	聞	5	-	-	-	1	-	4	-
年	24	-	1	1	6	-	16	-	兵	3	-	-	-	1	2	-	-
之	47	-	-	1	1	44	1	-	平	77	-	-	1	38	38	-	-
納	6	-	-	-	3	3	-	-	柄	1	-	-	-	-	-	1	-
杷	1	-	-	-	1	-	-	-	別	4	-	1	-	-	-	3	-
波	1	-	-	-	1	-	-	-	辺	8	-	-	-	5	-	3	-
破	1	-	-	-	-	-	1	-	返	8	-	-	-	7	-	1	-
馬	3	-	-	-	3	-	-	-	遍	22	-	-	1	5	16	-	-
漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注

## 古今和歌集元永本における漢字

漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注
保	3	-	-	-	2	-	1	-	邑	1	-	-	-	1	-	-	-
輔	4	-	-	-	-	4	-	-	雄	5	-	-	-	-	5	-	-
穂	2	-	-	-	-	-	2	-	夕	2	-	-	-	-	-	2	-
暮	1	-	-	-	-	-	1	-	預	1	-	-	1	-	-	-	-
母	5	-	-	-	2	3	-	-	様	2	-	-	1	-	-	1	-
峰	1	-	-	-	-	-	1	-	葉	35	-	-	3	6	1	24	1
方	22	-	-	-	4	12	6	-	遥	1	-	-	-	1	-	-	-
法	27	-	-	-	5	22	-	-	養	5	-	-	-	-	5	-	-
縫	1	-	-	-	-	-	1	-	来	9	-	-	-	1	-	8	-
訪	1	-	-	-	1	-	-	-	頼	2	-	-	-	-	2	-	-
忘	1	-	-	-	-	-	1	-	落	1	-	-	-	-	-	1	-
房	7	-	-	-	2	5	-	-	乱	1	-	-	-	-	-	1	-
北	2	-	-	-	2	-	-	-	嵐	2	-	-	-	-	-	2	-
堀	1	-	-	-	1	-	-	-	濫	3	-	-	-	-	-	3	-
本	14	-	-	1	1	1	9	2	藍	1	-	-	-	-	-	1	-
翻	1	-	1	-	-	-	-	-	覧	20	-	-	-	4	4	12	-
凡	1	-	-	-	-	1	-	-	利	1	-	-	-	1	-	-	-
麻	1	-	-	-	-	-	1	-	里	11	-	-	-	-	10	1	-
妹	2	-	-	1	-	-	1	-	離	2	-	1	-	-	-	1	-
毎	1	-	-	-	-	-	1	-	陸	1	-	-	-	-	1	-	-
枕	2	-	-	-	-	-	2	-	律	1	-	-	-	-	1	-	-
又	5	-	-	-	2	-	1	2	立	8	-	-	-	5	-	3	-
末	2	-	-	-	-	-	2	-	流	1	-	-	-	-	-	1	-
曆	2	-	-	1	-	1	-	-	留	2	-	-	-	-	2	-	-
万	6	-	-	2	1	1	1	1	竜	3	-	-	-	2	-	1	-
巳	1	-	-	1	-	-	-	-	旅	1	-	1	-	-	-	-	-
妙	3	-	-	-	-	-	3	-	梁	4	-	-	-	-	4	-	-
務	1	-	-	-	1	-	-	-	良	10	-	-	1	3	5	-	1
夢	10	-	-	-	-	-	10	-	諒	2	-	-	-	2	-	-	-
無	8	-	-	-	-	-	8	-	林	6	-	-	-	5	1	-	-
霧	5	-	-	2	1	-	2	-	溜	1	-	-	-	-	1	-	-
娘	5	-	-	-	-	5	-	-	恋	42	-	5	-	1	-	36	-
名	26	-	1	1	1	2	21	-	憐	1	-	-	-	-	-	1	-
命	1	-	-	-	-	-	1	-	露	26	-	-	-	1	-	24	1
明	10	-	-	1	3	-	6	-	老	6	-	-	1	-	-	5	-
鳴	4	-	-	-	-	-	4	-	郎	6	-	-	-	4	-	2	-
茂	3	-	-	-	-	3	-	-	六	5	2	-	-	3	-	-	-
木	24	-	-	1	4	9	10	-	倭	2	2	-	-	-	-	-	-
目	1	-	-	-	-	-	1	-	和	36	21	-	1	10	1	1	2
問	2	-	-	-	1	-	1	-	于	5	-	-	-	-	5	-	-
門	7	-	-	1	3	-	3	-	冊	1	-	-	-	1	-	-	-
夜	49	-	-	2	9	-	37	1	哥	196	5	9	52	102	1	-	27
野	38	-	-	3	4	18	13	-	妣	2	-	-	-	-	-	2	-
矢	1	-	-	-	-	1	-	-	屏	9	-	-	-	9	-	-	-
柳	2	-	-	-	1	-	1	-	岑	33	-	-	1	-	31	1	-
友	35	-	-	1	1	33	-	-	憑	3	-	-	-	-	-	3	-
有	9	-	-	-	2	3	4	-	歟	12	-	-	-	-	-	12	-
猶	4	-	-	-	-	-	4	-	篁	5	-	-	-	-	5	-	-
由	1	-	-	-	-	-	1	-	綺	1	-	-	-	1	-	-	-
遊	2	-	-	-	2	-	-	-	葦	1	-	-	-	-	-	1	-
漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注

漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	仮名	合計	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注
諧	1	-	1	-	-	-	-	-	あ	842	-	79	108	10	630	15
躬	40	-	-	1	1	38	-	-	い	703	-	89	117	23	452	22
遣	1	-	-	-	1	-	-	-	う	428	-	43	96	3	277	9
鉦	3	-	-	-	-	-	3	-	え	181	-	31	23	-	126	1
霍	1	-	-	-	-	-	1	-	お	592	-	58	106	5	410	13
霽	1	-	-	-	-	-	1	-	か	2273	-	199	406	26	1608	34
鞆	2	-	-	-	-	-	2	-	き	1455	-	127	189	61	1062	16
々	18	-	-	1	5	-	12	-	く	1071	-	99	115	-	829	28
■	16	-	-	-	8	4	3	1	け	1141	-	71	484	5	550	31
漢字	合計	卷序	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注	こ	1059	-	160	127	4	737	31
									さ	754	-	66	109	6	564	9
									し	1894	-	181	343	134	1220	16
									す	832	-	62	132	129	500	9
									せ	301	-	19	59	22	199	2
									そ	616	-	50	26	-	537	3
									た	1223	-	136	231	12	822	22
									ち	498	-	30	76	6	380	6
									つ	1012	-	121	184	55	634	18
									て	1255	-	106	452	2	673	22
									と	1877	-	204	324	54	1251	44
									な	1799	-	186	161	8	1406	38
									に	2044	-	178	591	1	1242	32
									ぬ	442	-	29	13	-	397	3
									ね	223	-	15	12	23	171	2
									の	2809	1	283	627	32	1788	78
									は	2106	-	204	276	7	1576	43
									ひ	849	-	72	156	45	562	14
									ふ	717	-	59	77	30	545	6
									へ	610	-	78	109	3	405	15
									ほ	302	-	40	48	3	202	9
									ま	955	-	98	223	2	612	20
									み	1270	-	111	200	74	863	22
									む	681	-	61	74	4	526	16
									め	496	-	55	139	-	295	7
									も	1384	-	110	143	10	1101	20
									や	635	-	53	75	16	481	10
									ゆ	318	-	18	11	46	240	3
									よ	709	-	74	190	52	382	11
									ら	1253	-	76	151	169	849	8
									り	1455	-	139	457	11	804	44
									る	1758	-	153	595	3	981	26
									れ	986	-	79	144	1	739	23
									ろ	345	-	52	44	-	246	3
									わ	446	-	24	33	-	386	3
									ゐ	95	-	12	19	-	64	-
									ゑ	91	-	2	20	1	68	-
									を	942	-	119	234	2	569	18
									ゝ	761	-	93	89	5	626	10
									ゝゝ	124	-	9	7	-	46	-
									□	164	1	18	36	5	100	4
									仮名	合計	卷題	序文	詞書	読人	和歌	左注

配列はJISコード順である。ただし、漢字を仮名の前に置く。

同の字点「々」は漢字として漢字の末尾に配置し、一の字点「ゝ」・くの字点「ゝゝ」は仮名として仮名の末尾に配置する。

また、汚損した文字についても、漢字であるか仮名であるかを推測して合計を漢字「■」と仮名「□」とで示す。ただし、その数値を本稿中の検討では顧慮しない。

## \*

集計するに当たって、見える文字が補入であるか否かが問題となるものがある。文字を漢字と見るか仮名と見るかについても、漢字の異体をどのように整理するかということについても、問題がある。しかし、細に入って前稿と似るところが多いので、ここでは省略に従う。

代わりに、漢字を出現頻度とともに一覧した徳永（1990）と、本稿を対比する。ただし、徳永は、元永本に見える漢字すべてを調べ上げていて、補入を排除した本稿の範囲を超える。また、漢字をどのように認定するかについても、本稿と異なるところがある。その違いを承知したうえで、対比してみる。

徳永の異なり字数は、一方、論文本文で612とされ、他方、一覧表で611である。両者の差が何によるかは分からないものの、本稿でそれに対比される数値は、表1に見えるように604である。徳永は出現頻度順に一覧しているので、以下にもその出現頻度を示し、併せて本稿の合計出現頻度を示す。

徳永の一覧で本稿に見えないものがあり、そのうちの次は、本稿のたちばから——の右のように読み替える。標目が移動するが、標目数の増減は徳永でも石井でも生じない。

徳永「姓」33 —— 石井「性」33

徳永「竈」3 —— 石井「寵」3

この2字が漢字の違いであるのに対して、次は字体の違いである。

徳永「鑊」1 —— 石井「鎖」1

徳永の次は、本稿ではそれぞれ合併する。合併した分が、石井の標目数で減る。

徳永「鶯」4 「鶯」1 —— 石井「鶯」5

徳永「歌」29 「調」1 —— 石井「歌」29

徳永「虚」2 「霄」1 —— 石井「虚」3

徳永「献」5 「獻」1 —— 石井「献」6

徳永「崎」2 「埼」1 —— 石井「崎」3

徳永「秋」69 偏傍交換6 —— 石井「秋」77

徳永「万」4 「萬」2 —— 石井「万」6

次は、本稿では、後補として調査範囲から外している。

徳永「尋」1 ……18-997 番歌読人「文室ありすゑ」の下に右寄せ小書きで「可尋」。

徳永「説」1 ……20-1086 番歌の歌の左に「或本の説」。

徳永が漢字としながら、石井は仮名で処理しているらしいものがある。石井の標目がないものを挙げるならば、次である。

徳永「加」5

徳永「砥」1

以上に対して、本稿にあって徳永の一覧にないものがある。

石井「遇」3

石井「任」1 ……序文に「王任といふ人の」とあり、徳永「仁」11 の一か。

石井「濫」3

石井「々」18 ……本稿では、これを漢字とした。

以上は、漢字の標目で徳永と石井とで出入りがあるものである。漢字一一の出現頻度の差は、ここに挙げた「歌」「秋」にも窺うことができ、全体は追い切れないので、立ち入らない。ただし、徳永の延べについて、論文本文で約6700としているのに対して、一覧表からの推測値を記しておく。推測値と言うのは、徳永の一覧表が、出現頻度20以下11以上の57字についてはその出現頻度を一一に記さず、その57字の配列によって計数値を推測させるに止まるからである。ここで当該漢字の出現頻度を次の数値のように推測し、

20 照 覧	15 一 所 白 罷
19 冬 町 許	14 三 上 世 敏 桜 正 江 色 雨
18 兼 国 帝 神 貞	13 七 丸 二 元 前 吹 松 条 給 興 道 霞 香
17 子 紀	12 京 吉 染 経 衣 里
16 五 待 惟 文 本 玉 雲	11 仁 地 宗 東 此 近

この推測も含めて標目611字分全部を合算すると、延べ6757字という結果が得られる。本稿では6764字である。

### 3—— 詞書・和歌における漢字・仮名

漢字が主として現れているのは、2節に知られるように、詞書および和歌であり、双方を併せて延べ漢字数の65.7% (= (2106+2341)/6764) に到る。しかもほぼ等量であるので、ここで双方を対比させてみる。

詞書は571箇所に記載されている。数首以上にわたる詞書もあり、原理的には全首に詞書があることになるはずであるが、本稿ではそのような展開をしない。571箇所の詞書に現れた漢字異なり335字を、表4に出現頻度順に一覧する。出現順位・頻度・比率・漢字数・累積比率は、詞書内でのものである。詞書に出現する漢字異なり335字のうちで上位10パーセントあたりにある31位を見るならば、その詞書での出現頻度は12、出現比率は5.6% (= 12 / 2106)、この順位・頻度・比率の漢字は2字あって「貞、帝」であり、ここまでの上位32字で累積比率597.8%つまりほぼ60%に到る、ということが示されている。

また、和歌に現れた漢字異なり324字を、前稿とよく似るが、表5に一覧する。数値は和歌内でのものである。

詞書・和歌に出現する漢字のその出現は、双方に亘るか一方に偏るかであり、双方に亘って出現する漢字に、表4・表5で下線を施す。出現の双方・一方の関係を図式化して漢字数を求めると、次のようである。

表4 詞書の漢字一覧（出現頻度順）

比率は千分率%, 小数第2位以下切り捨て

順位	出現頻度	比率	漢字数	累積比率	漢字
1	120	56.9	1	56.9	時
2	109	51.7	1	108.7	題
3	102	48.4	1	157.1	哥
4	87	41.3	1	198.4	人
5	79	37.5	1	235.9	御
6	53	25.1	1	261.1	侍
7	52	24.6	1	285.8	合
8	46	21.8	1	307.6	不
9	45	21.3	1	329.0	知
10	44	20.8	1	349.9	花
11	42	19.9	1	369.8	家
12	38	18.0	1	387.9	平
13	37	17.5	1	405.5	宮
14	36	17.0	1	422.6	読
15	34	16.1	2	454.8	王 親
17	33	15.6	1	470.5	山
18	32	15.1	1	485.7	寛
19	28	13.2	2	512.3	后 旦
21	20	9.4	1	521.8	女
22	18	8.5	1	530.3	月
23	17	8.0	1	538.4	院
24	15	7.1	4	566.9	臣 身 中 罷
28	14	6.6	2	580.2	云 朝
30	13	6.1	1	586.4	惟
31	12	5.6	2	597.8	貞 帝
33	11	5.2	5	623.9	京 見 原 国 所 十 藤 風 和
38	10	4.7	9	666.6	歌 河 給 七 秋 大 夜 屏 風 和
47	9	4.2	7	696.5	賀 事 春 条 大 夜 屏 風 和
54	8	3.7	4	711.7	将 仁 東 物 大 夜 屏 風 和
58	7	3.3	6	731.7	近 五 桜 寺 雪 返 二 正 三 郎 詣 上 明 火 思 帶 父
64	6	2.8	9	757.3	許 候 業 共 方 雨 坂 馬 或 今 僧 比 諒 阿 峨 季 嵯 主 神 歎 内 聞 来
73	5	2.3	14	790.5	雲 介 冬 右 斎 納 綾 後 染 八 童
87	4	1.8	20	828.5	介 冬 右 斎 納 綾 後 染 八 童
107	3	1.4	37	881.2	右 斎 納 綾 後 染 八 童
144	2	0.9	58	936.3	右 斎 納 綾 後 染 八 童
202	1	0.4	134	1000.0	右 斎 納 綾 後 染 八 童



表5 和歌の漢字一覧 (出現頻度順)

比率は千分率%, 小数第2位以下切り捨て

順位	出現頻度	比率	漢字数	累積比率	漢字
1	217	92.6	1	92.6	人
2	143	61.0	1	153.7	山
3	118	50.4	1	204.1	花
4	62	26.4	1	230.6	秋
5	60	25.6	1	256.3	身
6	55	23.4	2	303.2	心 風
8	50	21.3	1	324.6	我
9	44	18.7	1	343.4	思
10	37	15.8	2	375.0	月 夜
12	36	15.3	1	390.4	恋
13	35	14.9	1	405.3	行
14	34	14.5	1	419.9	日
15	32	13.6	1	433.5	今
16	30	12.8	3	472.0	時 春 水
19	26	11.1	1	483.1	千
20	24	10.2	3	513.8	南 葉 露
23	21	8.9	1	522.8	名
24	20	8.5	2	539.9	君 中
26	19	8.1	2	556.1	云 見
28	17	7.2	2	570.6	玉 物
30	16	6.8	2	584.3	待 年
32	15	6.4	1	590.7	雪
33	13	5.5	5	618.5	事 色 神 冬 野 覽 歟 々
38	12	5.1	8	659.5	霞 許 吹 世 知 松 朝 々
46	11	4.6	7	692.4	雨 雲 河 在 女 木 覽 松 朝 々
53	10	4.2	5	713.7	衣 子 白 夢 木 覽 松 朝 々
58	9	3.8	3	725.3	吉 染 本 鶴 来 草 地 尾 々
61	8	3.4	5	742.4	吾 大 過 寒 火 海 宮 有 岸 緒 立 為 曉 舟 渡 輶 引 款 戸 若 先 答 保 由 霧
66	7	2.9	8	766.3	二 猿 何 夏 聞 逢 取 門 梓 居 借 竹 郎 葦 刈 懸 兒 積 程 柄 閏 葦
74	6	2.5	13	799.6	寒 火 海 宮 有 岸 緒 立 為 曉 舟 渡 輶 引 款 戸 若 先 答 保 由 霧
87	5	2.1	13	827.4	寒 火 海 宮 有 岸 緒 立 為 曉 舟 渡 輶 引 款 戸 若 先 答 保 由 霧
100	4	1.7	18	858.1	寒 火 海 宮 有 岸 緒 立 為 曉 舟 渡 輶 引 款 戸 若 先 答 保 由 霧
118	3	1.2	33	900.4	寒 火 海 宮 有 岸 緒 立 為 曉 舟 渡 輶 引 款 戸 若 先 答 保 由 霧
151	2	0.8	59	950.8	寒 火 海 宮 有 岸 緒 立 為 曉 舟 渡 輶 引 款 戸 若 先 答 保 由 霧
210	1	0.4	115	1000.0	寒 火 海 宮 有 岸 緒 立 為 曉 舟 渡 輶 引 款 戸 若 先 答 保 由 霧

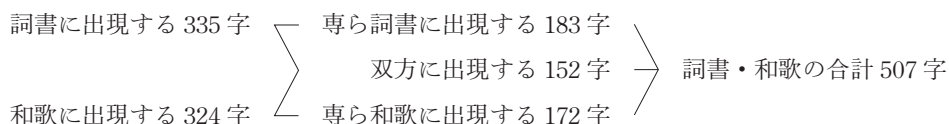


表4・表5の下線の有無によって対立的な様相を直感することができ、すなわち、詞書のほうでは、詞書のみ出現するものと、和歌に亘っても出現するもののが、全体に亘って相半ばし、和歌のほうでは、特に出現頻度上位のものは、ほとんどが詞書でも出現する。出現頻度上位10位ごとに区切って、双方に出現する漢字の数を見ると、次のようである。計算値であり、小数第2位以下を切り捨てる。

	1～10位で	11～20位で	21～30位で	31～40位で	41～50位で	51～60位で
詞書で	6.0字	4.0字	6.0字	6.0字	6.2字	4.7字
和歌で	9.0字	10.0字	9.5字	7.7字	8.7字	9.0字

＊

詞書の漢字四五について、略注を試みる。前稿同様、試行の域を出ない。

**時** 出現順位1 頻度120 比率56.9%

とき120

すべて字訓「とき」である。用法でやや小さく分けるならば、次のようである。

「時」（時運を得て盛んである意味。下記参照）1

「寛平・深草帝・田村の帝・田邑+の御時」4 「寛平・仁和・貞観・田村+御時」38

「おなし・同+御時」5

「…ける時」（「…」は動詞、「ける」脱・汚損を含む）66 「…る時」1 「…時」5

初めの事例について、詞書全文を掲げる。当該事例および参考部分に下線を施す。

18- 967 時なりける人 にはかに ときなくなりて 歎をみて みつからの なきもなく よ  
ろこひもなき 事を おもひて よめる

漢字「時」によって記された語が、直後では仮名「とき」で記されている。このような漢字と仮名との関係について踏み込むことは、前稿に引き続き、本稿でも行わない。その漢字表記「時」に限って見るならば、意味は、この1件のほかは、「御時」における時代と、その他における機会である。時代および機会の事例を挙げる。

1- 60 寛平の御時后宮の哥合せに

1- 24 寛平御時后宮哥合に

4- 178 おなし御時の後宮の哥合に

1- 22 哥たてまつれとおほせありける時に

8- 396 仁和帝の親王 おはしましけるとき ふるのたき 御らむしに おはしましける時

7- 357 内侍のかみの七十賀 子の右大将藤原朝臣の四十の賀 し侍る時（下略）

和歌では、出現順位 16・頻度 30・比率 11.1%である。すべて字訓「とき」によるが、詞書と重なる意味・用法は少なく、詞書の大半を占める「御時」「…ける時」は見えない。

「時」（時節の意味）6 「…時」21 「いささめの時」（「いささ」汚損）1

「時々」に とき ときに 1 「一時」ひと とき 1

この事例。

12- 578 我ことや わひしかる覧 ほとゝきす 時そともなく 夜たゝなくらむ

4- 215 おく山に 紅葉ふみわけ なくしかの こゑきく時そ 秋はかなしき

15-1124 とこしへに きみもあへむや いそなとる おきの玉もゝ よる時々に

19-1016 あきのゝに なまめきたてる 女郎花 穴ことゝ、し 花も一時

「時々」の事例は、定家系統の諸本にとっての謂わゆる異本歌であり、元永本では 761 番歌の次に置かれている。

漢字「時」は、専ら字訓「とき」によりながら、詞書と和歌とで意味・用法が異なる。この点から見ても、漢字の様相を検討するのに、一首の構成部分を踏まえる必要があることが知られるのである。ただし、この漢字「時」については、漢字の問題として処理するよりは、仮名表記をも含めて、語彙論的に「とき」の意味・用法のうちで扱うべきであると考えられる。

**題** 出現順位 2 頻度 109 比率 51.9%

だい 109

すべて字音「ダイ」である。意味は詠歌の事情説明ないし主題である。そのうちで「題知らず」が 109 件に上り、「知らず」の部分の漢字・仮名で分けると、次のようである。

題しらす 61 題不知 34 不知題 10 不題知 1

なお、仮名「たいしらす」3 件が見える。このほかの「題」3 件は、次である。

17- 919 法皇 西河に御坐しける日 鶴洲に立と云ことを題にて 読給ける

17- 930 田邑の御時 女房の侍にて 御屏風のゑ御覧して たきおちたりけるところのありけるを おもしろし これを題にて 哥よめと 候人におほせられければ よめりける

19-1067 法皇 西河におはしましけるに 猿山かゝるにさけふといふ題を

この漢字は和歌に見えない。和歌に対する詞書の漢字の著しい特徴は、字音が出現するということである。根本は、もとより、詞書で漢語を用いるということにある。ここに挙げた「題」は、主題ないし事情説明を意味する字訓が考え難く、すなわち対応する和語がなく、いかにも漢語らしい漢語であって、またそれを表す漢字であることになる。

**哥** 出現順位 3 頻度 102 比率 48.4%

うた 45 「御哥」1 「哥合」47 「哥合せ」1 「哥あはせ」1

「返哥」2 「古哥」2 「和哥」1 「短哥」1 「長哥」1

**歌** 出現順位 38 頻度 10 比率 4.7%

うた7 「歌合」2 「古歌」1

別の2字としたが、日本では異体と関係づけてよい、つまり同字と扱ってよいと思われるので、並べて掲げる。ともに和歌に見えない。漢語であるか和語であるか、すなわち、読むのに字音によるか字訓によるかは、必ずしも決定できないことが一般に少なくなく、この「哥」「歌」でも、単純語「うた」・複合語「うたあはせ」は和語・字訓であると見るが、「返歌」「古歌」で和語・字訓の可能性が薄まり、「和歌」「短歌」「長歌」は漢語・字音であろうかと思われる。また、「哥」「歌」の複合語における漢字・仮名のありかたは、ここに知られるとおりであって、ほとんど漢字のみで出現している。

「哥」「歌」の量的多寡は、ここにも表3にも見られるとおりで、「哥」が圧倒しつつ、巻序においてのみ逆転する。あるいは正体といった性格を「歌」が帯びるかもしれないが、わからない。なお、詞書で仮名「うた」は、次の各1件・計6件である。

「ふるきやまとまひのうた」「とりものゝうた」「ひるめのうた」

「さかみうた」「ひたちうた」「かひうた」

読 出現順位 14 頻度 36 比率 17.0%

よめ(命令) 1 「読る」17 「読める」7 「歌読させ」1

「読て」よみて6 「読ける」1 「読けむ」1 「読給ける」1 「読合て」1

いずれも動詞「よむ」のものであるが、語形が決まらないところもある。「読る」は、恐らく「よめる」であるが、「よみける」を排除することができない。「歌読させ」は、諸本と対照すると「うたよませ」でありそうであるが、「うたよみさせ」などといったものもありうるかもしれない(17-927)。「読合て」は、諸本で動詞「よみあひて」であるが、先行する助詞が異なっているので「よみあはせて」などもありうる(17-932)。

漢字「読」は、読人に特徴的に出現している。すべて「よみびと」のものであって、後続部分も加えて掲げると、次ですべてである。

「読人しらす」73 「読人不知」13 「不知読人」1 「読人も」1

最後の1件は次であり、数文字分の空白を詞書との間に置きつつ、一行のうちに収まっている。

4-245 題不知 読人も

漢字「読」によらずに出現しているものは、次である。ただし、一部脱落・汚損を含む。

「よみ人しらす」11 「よみひとしらす」39

ところで、詞書の文章上の特徴も、本稿が扱う範囲の外にあることがらであるが、一点、記しておきたい。定家系統諸本において詞書の末尾に見える「読める」が、元永本では見えないということである。例えば、定家系統の本文を西下経一・滝沢貞夫『古今集校本』の貞応二年筆写系統・梅沢彦太郎旧蔵本によるならば、その開巻10首で「よめる」の詞書は5首あり、元永本は次のように対応する。

	元永本	定家系統本
1- 1	ふるとしに春の立ける日	ふるとしに春たちける日 <u>よめる</u>
1- 2	はるたちける日 <u>よめる</u>	春たちける日 <u>よめる</u>
1- 6	雪の樹にふりかゝれるを	雪の木にふりかゝれるを <u>よめる</u>
1- 9	雪のふりける日	雪のふりけるを <u>よめる</u>
1- 10	はるのはしめに	春のはしめに <u>よめる</u>

表6 読人の漢字一覧（出現頻度順）

比率は千分率‰，小数第2位以下切り捨て

順位	出現頻度	比率	漢字数	累積比率	漢字
1	114	71.0	1	71.0	人
2	88	54.8	1	125.9	読
3	59	36.7	1	162.7	臣
4	52	32.4	1	195.1	原
5	49	30.5	1	225.6	朝
6	45	28.0	1	253.7	貫
7	44	27.4	1	281.1	之
8	40	24.9	1	306.1	恒
9	38	23.6	3	377.1	則 平 躬
12	33	20.5	3	438.9	性 素 友
15	32	19.9	1	458.8	忠
16	31	19.3	1	478.1	岑
17	28	17.4	1	495.6	小
18	25	15.5	2	526.8	業 藤
20	23	14.3	1	541.1	師
21	22	13.7	2	568.5	行 法
23	20	12.4	1	581.0	在
24	18	11.2	1	592.2	野
25	17	10.5	1	602.8	大
26	16	9.9	3	632.7	照 町 遍
29	15	9.3	2	651.4	不 風
31	14	8.7	3	677.6	兼 知
34	12	7.4	4	707.6	興 敏 文 方
38	11	6.8	2	721.3	元 宗
40	10	6.2	3	740.0	春 千 里
43	9	5.6	3	756.8	王 千 木
46	8	4.9	1	761.8	同
47	7	4.3	6	788.0	壬 是 正 清 生 僧 道
53	6	3.7	7	814.2	院 源 江 材 坂 滋 香 菅 眞 道
60	5	3.1	14	857.8	因 江 芸 材 坂 滋 香 菅 眞 道
74	4	2.4	11	885.2	河 伊 中 安 主 布 井 好 盛 扶
85	3	1.8	20	922.6	伊 中 安 主 布 井 好 盛 扶
105	2	1.2	34	965.0	中 安 主 布 井 好 盛 扶
139	1	0.6	56	1000.0	中 安 主 布 井 好 盛 扶

## 4 ———— その他の構成部分における漢字

詞書・和歌における漢字を一覧したので、他の構成部分の漢字も出現頻度順に一覧する。

すぐ上に触れるところがあった読人の部分について、まず表6として一覧する。読人における出現頻度では、その漢字の元永本全体における合計出現頻度の半数に満たない、という漢字に、下線を施す。例えば、読人における首位「人」は、読人での出現頻度は114、表3に知られるように他に和歌217など356が出現して元永本全体で出現頻度470となり、読人における比率は、半数を下回る24.2% (= 114 / 470) である。この「人」のほか「平、行、野、……」は、元永本の全体に亘ろうとするものであり、この一覧では75字ある。他の漢字「読、臣、原、……」は、読人を特徴づけて、ここの上位をよく占めている。

他の構成部分ごとの漢字一覧を、表7以下に左注・序文・巻序・巻題の順で掲げる。いずれの一覧でも、その部分の出現頻度が合計出現頻度の半数を上回る漢字に、下線を施す。その漢

表7 左注の漢字一覧（出現頻度順）

比率は千分率‰，小数第2位以下切り捨て

順位	出現頻度	比率	漢字数	累積比率	漢字
1	27	150.8	1	150.8	哥
2	24	134.0	1	284.9	人
3	17	94.9	1	379.8	或
4	11	61.4	1	441.3	此
5	7	39.1	1	480.4	云
6	4	22.3	4	569.8	下 植 丸 前
10	2	11.1	17	759.7	河 媼 給 和 国 侍 時 女 昔 大 帝 伝 内 二 伴
27	1	5.5	43	1000.0	本 又 王 翁 歌 卷 京 近 慶 献 元 御 江 黒 裁 一 三 主 首 集 承 心 申 臣 身 仁 水 采 染 寺 第 竹 殿 奈 白 親 万 夜 葉 良 政 露

表8 序文の漢字一覧（出現頻度順）

比率は千分率‰，小数第2位以下切り捨て

順位	出現頻度	比率	漢字数	累積比率	漢字
1	52	189.7	1	189.7	哥
2	28	102.1	1	291.9	人
3	8	29.1	1	321.1	山
4	7	25.5	3	397.8	花 御 心
7	6	21.8	1	419.7	云
8	4	14.5	3	463.5	丸 女 赤
11	3	10.9	9	562.0	月 事 時 集 朝 南 日 野 葉
20	2	7.2	11	642.3	海 臺 紀 四 秋 小 神 帝 万 霧 夜 官 貫 忌 一 字 衛 延 王 何 霞 帝 我 柿 卷 恒 甲 行 宮 給 業 形 見 原 峨 万 候 康 春 所 畫 国 今 左 在 思 治 古 我 五 十 前 僧 則 昭 燒 色 身 正 生 室 首 千 船 任 年 之 其 辰 忠 町 天 都 雪 千 等 甘 本 妹 磨 梅 八 斐 陸 府 風 物 文 平 奈 遍 本 舛 々 巳 名 明 木 門 友 預 様 良 老 和 岑 躬 々

字の事例は、初めに一首の構成部分を定めたところに見ることができ、また卷十九・二十で巻題を特別扱いするとしたところにも見ることができる。序文から2箇所を挙げる。

わかいはほは都の辰巳しかそなくよをうちやまと人はいふなり

延喜五年四月十八日紀友則御書所預紀貫之

表9 卷序の漢字一覧（出現頻度順）

比率は千分率‰，小数第2位以下切り捨て

順位	出現頻度	比率	漢字数	累積比率	漢字
1	23	119.1	5	595.8	卷 古 今 集 策
6	21	108.8	1	704.6	和
7	18	93.2	1	797.9	歌
8	10	51.8	1	849.7	十
9	5	25.9	1	875.6	哥
10	3	15.5	1	891.1	一
11	2	10.3	10	994.8	九 五 三 四 七 二 廿 八 六 倭
21	1	5.1	1	1000.0	上

表10 巻題の漢字一覧（出現頻度順）

比率は千分率‰，小数第2位以下切り捨て

順位	出現頻度	比率	漢字数	累積比率	漢字
1	9	134.3	1	134.3	哥
2	5	74.6	1	208.9	恋
3	3	44.7	3	343.2	下 雜 上
6	2	29.8	5	492.5	四 秋 春 物
11	1	14.9	34	1000.0	一 永 夏 樂 祈 月 元 五 御 七 所 傷 心 神 旋 俗 大 短 冬 頭 二 廿 日 年 誑 部 風 別 翻 名 離 旅 諧

### 参考文献

- 築島 裕 (1995) 築島裕博士古稀記念国語学論集。汲古書院。
- 築島 裕・石川 洋子・小倉 正一・土井 光祐・徳永 良次  
(1994) 古典籍索引叢書2 東京国立博物館蔵本古今和歌集総索引。汲古書院。
- 徳永 良次 (1990) 元永本古今和歌集の表記——助詞・助動詞等の漢字表記を中心として。  
中央大学，大学院研究年報 19 文学研究科 pp.57-68。
- (1995) 元永本『古今和歌集』の漢字使用の一側面。築島 (1995) pp.543-564。
- 二玄社 (1994) 日本名筆選 30-33 元永本古今和歌集 伝源俊頼筆  
〈上〉一・二・〈下〉一・二。古谷稔解説，二玄社。
- 西下 経一・滝沢 貞夫  
(1977) 古今集校本。2007年，新装ワイド版，笠間書院。

